

市民と力を合わせて健康づくりを

医療費や保険料が高い

日本共産党市議団の市民アンケートには、医療費や介護保険料・国民健康保険税が高く困るという声が多く寄せられました。

日本共産党の猿渡（えんど）久子市議は、

9月17日の市議会一般質問で、「この声に応えるためにも健康づくりが大事だ」と、健康長寿日本一の長野県に視察に行つて学んだことを紹介しながら質問しました。

「医療費や保険料が高い」を学んで

えんど市議は「長野県は戦後一貫して市民と一緒に健康づくりに力を入れてきた。長野県でも、医療費が減額となった宇佐市でも、

健康推進員など市民が地域で健康づくりのリーダーとして頑張っている。別府市も市民と協働の取組みを進めるべきだ」と求めました。

別府でもバゾーにいきたい

健康づくり推進課長は「昨年度亀川をモデル地区とし自治会の協力のもと『健康づくり広め隊』という名の地域のリーダーを中心に

健康教室や歩こう会などに取り組んでいる。今後、市内全域にこのような取り組みを広めていきたい」と答弁しました。

保健師の増員を

また、別府市の保健師は23人です。「県平均並みにするために

は35人必要だ」とえんど久子市議は保健師の増員を求めました。

学校給食は減速に抑え

えんど久子市議は、「健康づくりには、子どもの頃からの食生活が大事だが、学校給食の食塩摂取量は？」と質問。スポーツ健康課参事は「別府市の学校給食では小学校2.5g未満、中学校3.0g未満を1食の基準としている。6月は、小

学校は平均で20.9g、中学校で2.88g」と答弁。えんど市議は「別府市の学校給食は本当においしく衛生面や食育にもよく努力している。今後も家庭への働きかけにも努力してほしい」と求めました。



えんど久子のホームページ「はっぴーえんどどっとねっと」をぜひご覧下さい。「えんど久子」で検索すれば見られます。

日本共産党 別府市議団

げんきニュース

発行責任者 平野文活
別府市石垣西8-2-31
TEL0977-22-6576

No.618
2014.9.24.

TEL・FAX 平野文活21-6749・えんど久子25-7630

<http://www.ctb.ne.jp/~jcpbesig/>